

乳用子牛の発育向上

支所 地域課題⑮

令和3年度 日高地域農業技術支援会議 プロジェクト活動

◆活動年次：令和3～4年度

◆対象：日高町 日高キャトルセンター利用農家（設立時希望農家） 11戸



1 課題の背景

- (1) 日高町では、高齢農家の営農継続と大規模農家の省力化を図る必要から、育成牛の共同預託施設（日高キャトルセンター：以下センター）が設立される。（令和3年11月稼働）
- (2) センター利用農家が省力化とあわせ、子牛の発育向上のメリットを得るためには、センター預託前の、適切な子牛の管理が重要である。
- (3) 特に母牛の初乳からの子牛に免疫を確実に獲得させることが重要である。
- (4) 本年は、初乳品質、子牛の免疫抗体獲得等の実態把握に向けて活動を行った。

2 活動の経過

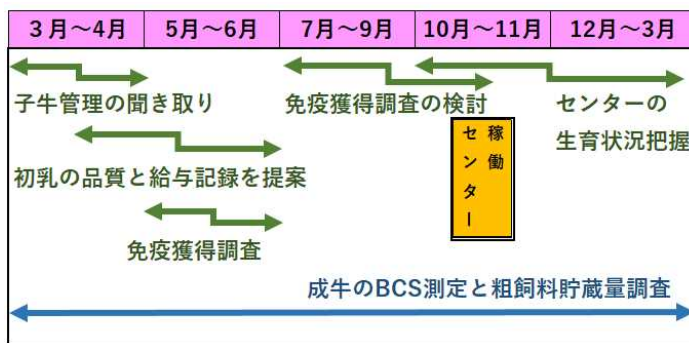


写真1 アンケート調査



写真2 免疫獲得調査



写真3 調査結果の検討



写真4 成牛のBCS測定



写真5 哺乳牛の導入調査



写真6 離乳牛の状況調査

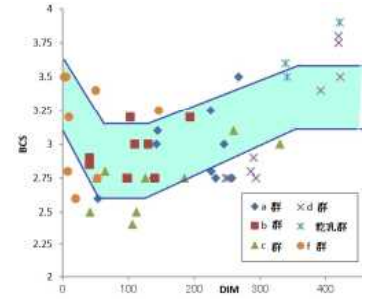


図1 BCS調査

3 活動の成果

アンケートによる子牛の飼養状況の把握

- (1) 親牛のワクチン使用、乾乳期の管理、分娩方法、分娩後の処置、初乳給与等を聞き取り調査し、地域の状況が把握できた。
 ・つないだままの分娩が72%、初乳のためのワクチン接種は54%・・・



農業者の声

よそのやり方を知ることが出来てとても参考になった！

免疫獲得調査と結果報告

- (1) 初乳を糖度計で測定する農家が出てきた。
 農場ごとに初乳糖度のバラつきが見られた(図2)。初乳給与について助言すると糖度計を購入し、活用する農家が出てきた。

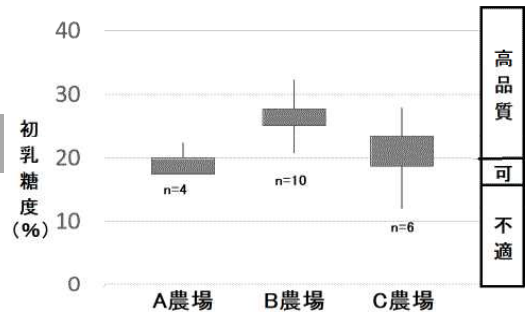


図2 初乳の糖度調査

- (2) 血液検査により、子牛の調子を確認できた。
 分娩後調子の悪い牛は、血液検査でも免疫が低い状況を確認できた(図3)。

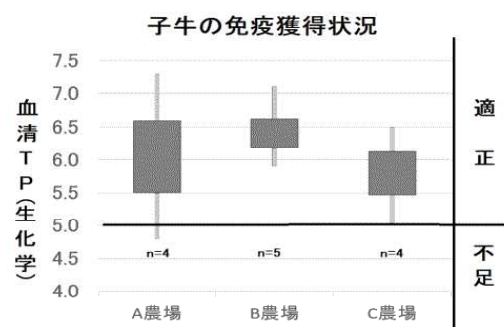


図3 子牛の血液検査

- (3) 初乳のやり方を改善する農家が出てきた。
 各農家のアンケートと血液検査結果を情報共有したことで、初乳給与を工夫する農家が出てきた。

成牛の飼養管理改善

- (1) 個体乳のケトン体の推移を見て状況改善の提案を行い、個体乳量200kgUPした農家が2戸見られた。
 (2) 粗飼料貯蔵量の把握により、自給粗飼料の生産と給与が計画できた。

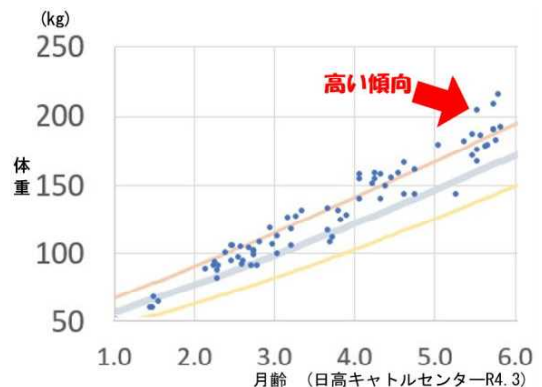


図4 センターの体重推移

キャトルセンターの生育状況の情報支援

- (1) 哺乳牛・離乳牛の体重測定値を、PCでモニターできる支援を行った。これにより日増体量をセンターで把握でき、離乳後の脂肪がつきすぎる状況(図4)が分かり、飼料給与を見直した。

4 今後の課題

- (1) 子牛の初乳給与の改善資料の作成と巡回指導アンケート調査と血液検査の結果を基に、農業者へ技術提案を行う(図5)。
 (2) センター開業後のデータ活用
 センターへ導入するための育成牛の基本技術の支援を行う。センターで行う血液検査結果を利用農家が、活用できるように関係機関と連携して情報共有を行う。

初乳給与のポイント

- ① 出生後**6時間以内**に、**最低3L以上**

分娩後1回目に搾った生乳を子牛がお腹いっぱいになるまで飲ませましょう。

分娩後6時間経過後でも子牛が飲まない場合は、カテーテルを使用し、強制哺乳をしましょう！

- ② 初乳給与は、**母牛初乳・冷凍初乳 > 初乳製剤**

初乳には①抗体の移行、②栄養の給与の二つの役割があります。

初乳製剤は初乳量が不足した時に補助として使用。できるだけ生乳と併せて給与しましょう。製剤のみの使用する場合、2~3袋必要(1kg 150g相当)です。

図5 改善資料

日高農業改良部及センター日高西部支所
日高キャトルセンター株式会社